

働き方改革セミナーの開催

2月20日(木)15時からメルパルク横浜において、働き方改革に関する研修会が青年部主催で開催された。参加者29名。

最初に岸部理事長から「働き方改革は2019年度から法律に基づき始まったが、2020年4月1日からは中小企業も働き方改革に本格的に取り組まなくてはならないので、本日の講義をしっかりと聞いてほしい」との挨拶があった。次いで、田中青年部会長から、懇親会は新型コロナウイルスの感染リスクを考えて中止としたとの告知と、ノズルチップ収集協力のお礼があった。



田中部会長



渡辺栄英氏

セミナーの講師は、特定社会保険労務士の渡辺栄英(わたなべたかひで)氏にお願いした。

まず、日本の人口推移、正規・非正規などの雇用状況を踏まえ、「必要な人材の採用ができていない」「社員が短期間で辞めないで、定着している」「社員がきちんと育つ環境を整えている」企業でなければ、生き残っていけない時代になっている。そして、社員が定着するには、「将来展望を持つキャリアパスの設計」「社内で育てられている・成長していると実感できる体制」「自分の役割・貢献・価値を認識できる処遇」「正當に評価されていると感じられる納得性のある人事評価」が必要とのことであった。

2019年については「年休の取得促進」、2020年については「長時間労働の削減」、2021年については「同一労働同一賃金の実現」という年別目標が明示された後、鉄骨工場に比較的近い環境の中小企業の働き方改革事例が紹介され、大変参考になる有意義な講義であった。

組合員から「現場への移動時間は通勤か労働か」など、日頃憂慮している質問が数多く出るとともに、それに対して組合員同士で意見や自社の取組みを発言し合う場面もあり、組合員の関心が高い時宜に合った講習会であった。

令和2年度性能評価業務実施スケジュール

来年度の性能評価業務実施日程が全鉄評から下表のとおり発表されましたのでご案内します。

主要項目	前 期	中 間	後 期
申請受付期間	4/ 8～5/15	7/ 8～7/31	10/21～11/30
工場審査期間	7/ 1～7/22	10月中	令和3年2月上旬
工場への通知	9月30日	12月25日	令和3年3月31日
認定書の到達	令和3年1月下旬	令和3年3月上旬	令和3年7月上旬

※中間受付は原則、新規取得申請のみ対象です。

※前期に申請を予定されている方は、3月19日(木)までにご回答ください。(2月14日にFAXでご案内済み)



役員会だより

2月20日(木)、働き方改革セミナーに先駆け、13時からメルパルク横浜で開催した。

・『働き方改革』実施に向け、全構協が掲げた下記の統一目標を踏まえ、当協会でも同目標のもと、活動を推進することとし、関係団体に周知・協力依頼をすることとした。

『現場作業については、第一段階として4週6休とする。(原則として第2、第4土曜日の現場作業を休みとする。)]

・令和元年度の決算見込みが、昨年度と比較して、工場審査企業数の減、フルハーネス講習料収入皆減、官公庁物件収入大幅減などにより損益に赤字が見込まれ、特別積立金から補てんすることとした。

・令和2年度の事業方針として、昨年度に引き続き、次の3項目を継続することとした。①働き方改革を踏まえてのファブの対応策の検討、②新規組合加入の促進、③組合の対外的PR手法の検討。

・5月21日開催予定の総会において選定される役員体制に関して、改選方法等について検討した。その結果、支部毎の推薦理事数や、青年部会・Mグレード部会・RJNグレード部会の部会長が支部から推薦されない者の場合は、当該部会長は理事とすることなどが決まった。

Mグレード部会総会の開催

2月26日(水)16時から第14回通常総会が組合事務所で開催された。石井会長が議長となり、出席15名と委任状3社により定足数を満たしているとの報告後、第1号議案「令和1年事業報告及び収支決算」、第2号議案「令和2年事業計画及び収支予算」について全会一致で承認された。第3号議案「役員改選」については、役員を希望する人がいなかったため、役員会の案に基づき、寺嶋氏、青柳氏、糺氏、日向氏、山口氏、小原氏が選出され、話し合いの結果、下記のとおりと報告され、役員体制について全会一致で承認された。

会 長	(株)渡辺鐵工所	寺嶋 典将
副会長	(株)青柳製作所	青柳 厚志
副会長	(株)小原鐵工所	小原 清太
会 計	マイカ工業(株)	糺 博史
幹 事	(株)日向鐵工	日向喜久仁
監 事	三葉鐵工(株)	山口 和伸
相談役	(株)石井鐵工所	石井二三夫

高能率アーク溶接システム「D-Arc」講習会の報告〔小原〕

2月16日(日)、平塚市の(株)岸本建設工業において、(株)ダイヘンの「D-Arc」の講習会が開催された。参加者は、組合員9社17名、全構協1名、ダイヘン5名、他に関係者2名の合計25名であった。

実演体験では、予め溶接したのを見ると、スパッターが少なく綺麗な仕上がりがかった。佐藤氏が実演すると、板厚19ミリの鋼板が2パスで仕上がったが、とにかく速い！自分もアークを出してみると多少違和感があるが、使いづらい印象はなく、入熱パス間温度も問題なく変形も少ない。

ルート間隔5ミリ程度空けると超音波も問題なく、3パスで仕上がることから、溶接時間が短く仕上がりが綺麗で、いいことばかりのシステムだと感じた。



建築鉄骨関連資格試験及び研修会開催予定

資 格	試 験	研修会
溶接管理技術者 (前期) <日本溶接協会>	筆記 6月7日(日)	1級 4月1～4日(溶接会館)
	口述 7月4日(土)	1級 4月14～17日(溶接会館) 2級 4月1～3日(日本教育会館) 2級 4月14～16日(日本教育会館) <日本溶接協会>

※研修会は定員になり次第締切。定員は、上記1級は100名、2級は180名。
※研修会案内を希望する方は、当組合にご連絡ください。郵送します。

青年部の横顔

No. 26



(有)榎本鐵工所
取締役 榎本 正
相模原市中央区田名9912-2
TEL 042-778-1525
FAX 042-778-3344
E-mail enotetutadashi@outlook.jp

弊社は、父が昭和48年に相模原市に創立、平成4年に第2工場を設立。少人数ではありますが、木造絡みの細かな物から、ビル・マンション・工場などの大型なものまで、鉄絡みの物は何でも行っています。

現在、若手社員を中心に仕事をしており、常に安全第一を心がけ、お客様が思い描く建物を作ろうと日々努力しています。従業員数が少ない事で、苦勞する事も多々ありますが、社員全員で協力し乗り越えた時の喜びは大きく、それを糧に頑張っています。

趣味は、昔から続けている草野球やサーフィン。最近では、中学生の娘と一緒にテニスをするのも楽しみの1つです。テニスの経験は全くありませんが、休日はテニスコートに足を運び、我流ながらもドタバタとコートを走り回りながら楽しさを実感しています。

今後の目標としましては、働き方改革に習うべく、社内環境の整備や人材育成にも目を向け、社員が居心地の良い職場作りをしていけたらと考えています。

全青会関東ブロック協議会研修会の報告〔北條〕

全国鐵構工業協会青年部会関東ブロック協議会の令和元年度の研修事業が、2月8日(土)に栃木県宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」で開催された。

研修会では、元イチロー専属打撃投手の奥村幸治氏をお迎えし、「強い組織のつくり方 ～成長できる企業を目指して～」というテーマでお話を伺った。いろいろなキーワード(プラス思考、ルーティン、マニュアル化、素直な気持ち、運をつかむ...etc.)を使って様々なエピソードをお聞きした。中でも印象的だったのが、「目標設定」という言葉。大きすぎる目標でなく、身近な目標をそれぞれ個々に設定して、それに向かって日々練習や仕事に取り組むといった内容であった。毎日目標を設定し、その目標を達成していくように努力をすることが、大きな目標を達成するための第一歩になるのではないだろうか。



奥村幸治氏

研修会の後は懇親会、2次会が開かれ、1都9県のそれぞれのメンバー同士で横の繋がりを深めることができた。

出席者は来賓、賛助会、青年部会員、研修事業の準備をしていただいた栃木県青年部会スタッフなどを含め、総勢95名が参加となった。